

1 令和5年度愛知県内のエピペン使用事例（令和6年度市町村教育委員会学校給食主管課長会議資料より抜粋）

単位：件

学校別		発症時		原因		初発	エピペン使用者		救急車要請
小学校	15	登下校	3	運動誘発	5	1	本人	1	25
中学校	6	給食・昼放課	15	誤食	4		保護者	0	
高等学校	4	授業中	5	原因不明	11		教職員	18	
特別支援学校	0	その他	2	朝食	5		医師等	6	
【事例傾向】									
・アレルゲンを除去しているにもかかわらず、アナフィラキシーショックが発症している。									
・除去解除された子が再び発症することがある。									
・給食時の「誤食」は保護者の見落としと学校のチェック体制が薄いことによる見落としが重なった場合である。									
・家庭での朝食が原因で発症することがある。									
・主な原因「原因不明」 11 件のうち 6 件は、後日原因が特定されている。									

令和5年度あま市のエピペン使用事例

学校別		発症時		原因		初発	エピペン使用者		救急車要請
小学校	0	登下校		運動誘発	0	0	本人	0	0
中学校	0	給食・昼放課	0	誤食	0		保護者	0	
高等学校		授業中	0	原因不明	0		教職員	0	
特別支援学校		その他	0	朝食	0		医師等	0	
【事例傾向】									

一部抜粋

	学 年	原 因	発症時	状 況
1	小 2	乳	給食中	○(ハムとチーズのはさみ揚げ)を誤食して発症したケース ・献立の確認がされずに給食が始まり食べてしまった。その後、担任がアレルギーであることに気付き、児童に確認すると一口食べていることが分かった。 ・保健室で様子を見ていたところ、のどの痒みを訴えたため、校務主任がエピペンを打ち、担任が救急車要請をし、病院に運んだ。
2	小 1	ナッツ	給食中	○原因不明(後日判明)により初発で発症したケース ・「ナッツ炒め」を喫食中に嘔吐し、担任が保健室に運んだ。 ・養護教諭がほほの赤み、耳の奥の痒み、咳症状を確認したため保護者に連絡したがつながらなかった。 ・咳症状がひどくなってきたため、救急車要請し、病院に運んだ。 ・検査の結果、ナッツのアレルギーと診断され、エピペンが処方された。
3	小 6	小麦	登校後	○朝食でパンを食べ発症したケース ・小麦アレルギーが解除された児童が朝食でパンを食べて登校した。 ・登校後、担任と養護教諭が蕁麻疹、咳、息苦しさなどの症状を確認したため、養護教諭がエピペンを打った。同時にもう一人の養護教諭が救急車要請し、病院に運んだ。 ・医師より今回は体調が悪い時に小麦を摂取したことが原因であると診断を受け、保護者より「朝食にパンを食べることはやめさせる」と連絡があった。
4	小 1	乳・鶏卵	給食中	○「お米のタルト」を誤食して発症したケース ・無配膳が記載されていた「お米のタルト」を誤って配膳してしまい、児童が喫食した。 ・児童が担任に下の痒みを訴えたため、担架で保健室に運んだ。 ・養護教諭が咳症状を確認したため、エピペンを打った。同時に教頭が救急車要請し、病院に運んだ。 ・喫食前に配膳を確認するとともに、本児の配膳完了後に他の児童が配膳を開始する対応を教職員間で共通理解した。

5	小2	乳	昼放課	<u>○運動誘発で発症したケース</u> ・乳アレルギーの解除された児童が給食後に、運動場で鬼ごっこして遊んだ。その後、教室で嘔吐し担架で校長室に運んだ。 ・内科検診中であった学校医と養護教諭が症状を確認し、教頭が救急車要請し病院に運んだ。 ・病院到着後、診察・処置中に医師がエピペンを打った。 ・学校では、牛乳をやめ、豆乳を申し込むことで対応を改善した。
6	中1	ごま・グレープフルーツ・メロン・スイカ・キウイ	授業中 (体育)	<u>○運動誘発で発症したケース</u> ・5限目の体育中に、生徒が苦しいと訴えた。熱中症の疑いもあったため、保健室に運んだ。 ・養護教諭が、蕁麻疹と息苦しさを確認し、本人が内服薬を服薬。 ・教頭が救急車を要請し、119番の指示で養護教諭がエピペンを打った。 ・検査の結果、医師より原因ははっきりしないが、運動誘発は否定できないと診断された。 ・午後の体育をやめて、すべて午前中に行う対応に改善をした。
7	小2	乳	給食中	<u>○「夏野菜カレーライス」を誤食して発症したケース</u> ・職員室で用意されているアレルギー除去食に気づかず、教室のカレーライスを喫食した。 ・喫食に気付いた担任が、児童を保健室に移動させ、様子を見ていたところ嘔吐したため養護教諭がエピペンを打ち、教頭が救急車要請し、病院に運んだ。 ・管理職がチェックを行うことや10分経っても職員室にアレルギー食を取りに来ない場合は、該当クラスに連絡をするなどの対応が改善された。
8	高1	小麦・大豆・人参	学校行事 (水泳訓練)	<u>○原因不明(後日判明)で発症したケース</u> ・水泳訓練後に宿に戻って休憩していたところ、咳が止まらず息苦しさを感じ、看護師に申し出た。 ・看護師が症状を確認し、エピペンを打ち教員が救急車要請し、病院に運んだ。 ・検査の結果、小麦のほかに、にんじんと大豆もアレルゲンの可能性が高いことがわかり、除去していくことになった。

9	小1	乳	給食後 (掃除中)	○原因不明(後日判明)で発症したケース ・牛乳は飲まないがパンは食べてもよい児童が、いつものようにパンを喫食した。 ・掃除をしていたところ、校内巡視をしていた看護教諭が体を掻いている本児を発見した。 ・本児を保健室に連れていき、内服薬を服薬させたが、腹回りに痒みが出てきたため、養護教諭がエピペンを打ち、教頭が救急車要請し、病院に運んだ。 ・パンの喫食をやめ、弁当対応とした。
10	小1	乳	給食中	○「きのこクリームスープ」を誤食して発症したケース ・除去食に記載されるはずの「きのこクリームスープ」が給食対応連絡用献立表に記載されていなかったため、誤って喫食した。 ・本児が吐き気を訴えたため、担任とともに保健室に来室する。 ・養護教諭が吐き気、腹痛、咳症状を確認したため内服薬を服薬させた。到着した父親と相談後、救急車を要請し救急車内で救急隊員がエピペンを打った。 ・ダブルチェックや迷わずエピペンを打つなどの対応について、臨時の職員会を行い、全職員に共通理解を図った。
11	小6	じゃがいも	授業中 (3限後)	○朝食で発症したケース ・いつも食べる負荷試験用のじゃがいもを朝食で喫食した。 ・3限後、体調が悪くなり、保健室に来室した。 ・問診から、朝食でのじゃがいもの喫食がわかり養護教諭がエピペンを打ち、校長が救急車を要請し、病院に運んだ。 ・その後、医師からの指示で、負荷試験用のじゃがいもの喫食は夜行うことになった。
12	中3	魚類 (サケ)	授業中 (体育)	○運動誘発で発症したケース ・5時間目の体育で、バトミントンをしていたところ、のどに違和感を感じ、養護教諭に伝えた。 ・養護教諭が息苦しさを確認したためエピペンを打ち、職員室にいた教諭が救急車を要請し、病院に運んだ。 サケ以外の青魚などが給食に出る場合は、家から持参する対応食を食べることになった。